

春季宗教運動へようこそ

森 田 雅 也

さわやかな季節になりました。新緑が運んでくる風。キャンパスに降り注ぐ光。五感から昂じる力。この「風、光、力」の中でともに学び、語り合えることに喜びを感じますね。

日本では米を主食としてきました。春に田植えをし、秋に収穫する米は私たちの生命の源でした。

今年も田植えができる。老いも若きも早乙女とともに、歌い、踊り、秋の実りが豊かなことを祈ります。その心の中には、この土地を肥えた田にし、一つ一つの田に水をひいてくれた先祖への感謝と誇りが満ちあふれています。

関西学院も一世紀以上前に鋤をふるってくれた人々がいて、今日があるので。嬉しいことです。

春季宗教運動はキリスト教強調週間であるとともに、関西学院あがての春の祭りです。様々な行事が予定されています。今年の春の統一テーマは「建学の精神」です。

全キャンパスでチャペルの時間を拡大して、たくさんの先生方からメッセージをいただきます。皆で誘い合わせて、気軽に聞きにいきましょう。

多くの学生団体やオルガニストの人たちから音楽の贈り物もあります。この日のために地道な練習を続けてくれました。さあ、ともに楽しみましょう。

学生も教員も職員も一緒になって、皆で「関西学院」の温故知新につとめ、ともに「関西学院」という「笈（おい）注・ランドセル。芭蕉が旅姿で背負っている絵。見たことないですか」を背負えることに感謝と誇りを覚えましょう。

「年年歳歳花相似 歳歳年年人不同」

学院の花々は今年も去年と同じように美しく咲いていますが、人は移りゆくものです。新入生や新しい教職員の人たちを迎え、今年の学院の彩りは、去年の春と装いを変えています。それは毎年、変わっていくでしょう。

何年か、何十年か先、あなたが関西学院を誰かの前で語るとき、「私は2010年の春季宗教運動のとき、あそこにいた」と、ちょっとだけ胸を張って下さい。

参加鶴首。Come and join us!

(文学部教授・宗教活動委員会委員長)